

平成27年1月に大船町と石崎町(図1)で環境・生物調査を実施しましたので、結果の概要をお知らせします。作業等の参考にしてください。

- 水温は、石崎町で9.1℃、大船町で6.4℃で、昨年と比較すると石崎町で同程度、大船町で0.7℃ほど高くなっています。
- 塩分は、大きな変化はありません。
- 促成マコンブの成長は良好ですが、大船町の一部でヨコエビ類によるとみられる葉体の穴あき、ねじれが発生しています。



図1 調査位置図

【調査概要】

今回は1月21日に大船町で、1月22日に石崎町で調査を実施しました。コンブ養殖施設付近で、水温、塩分、光量等の水深10cmごとの鉛直分布を測定するとともに、水深0、5、10、20m層で採水し、後ほど無機栄養塩濃度(窒素、リン等)の分析を行います。また、養殖施設(コンブ育成水深)に設置した、自動的に連続してデータが記録される水温・塩分計、深度計、照度計のデータ(平成26年12月24、25日～平成27年1月21、22日分)を回収しました。

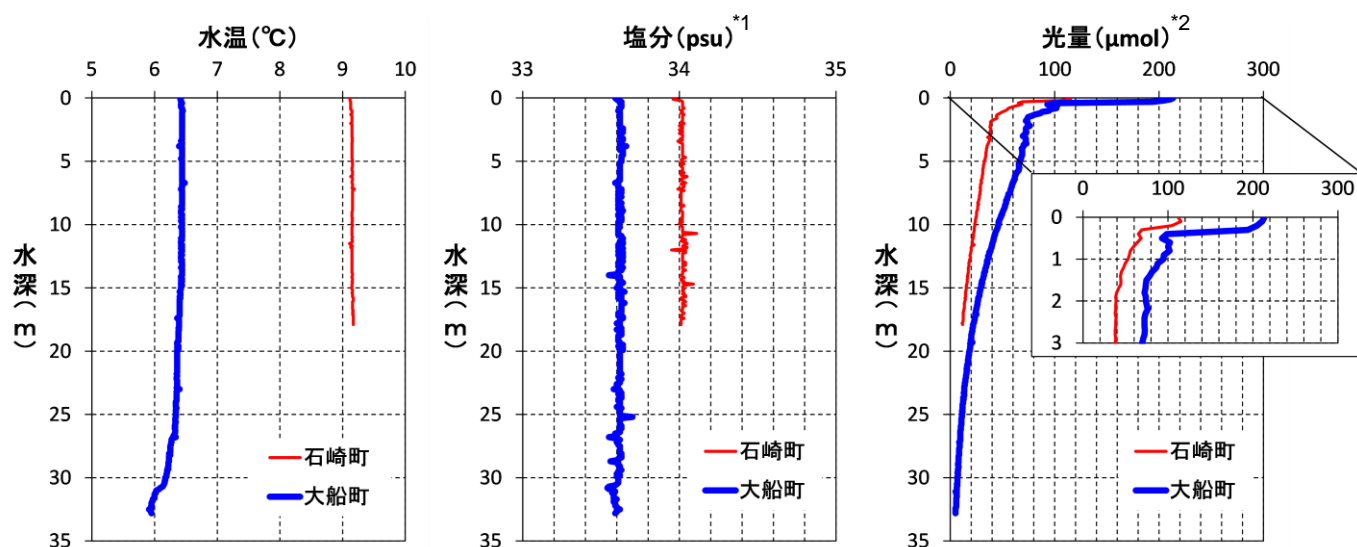


図2 コンブ養殖場(沖側)における水温、塩分、光量の鉛直分布(大船町 H27.1.21、石崎町 1.22)

【結果の概要】

- 水温：大船町では水深約 25m まで 6.4℃、石崎町では全層 9.1℃でした。（図 2）。連続観測では、石崎町では前年と同程度、大船町では変動がありますが 0.7℃程度高くなっています（図 3）。
- 塩分*1：全層変わらず、大船町では 33.6、石崎町では 34 でした（図 2）。
- 光量*2（調査時、曇り）：水面近くで石崎町 110 μ mol、大船町 210 μ mol でした（図 2）。水中光量は、石崎町、大船町ともに水深約 50cm で大きく減少していました（図 2）。
- 促成マコンプの生育状況：石崎町（葉長約 180cm）、大船町（葉長約 230cm）ともに成長は良好ですが、大船町の一部でヨコエビ類によるとみられる、葉体の穴あき、ねじれが発生しています。

【今後の予定】

- 月 1 回の環境調査を継続するとともに、養殖コンブの生育状況の追跡調査を実施し、随時結果をお知らせしていきます。

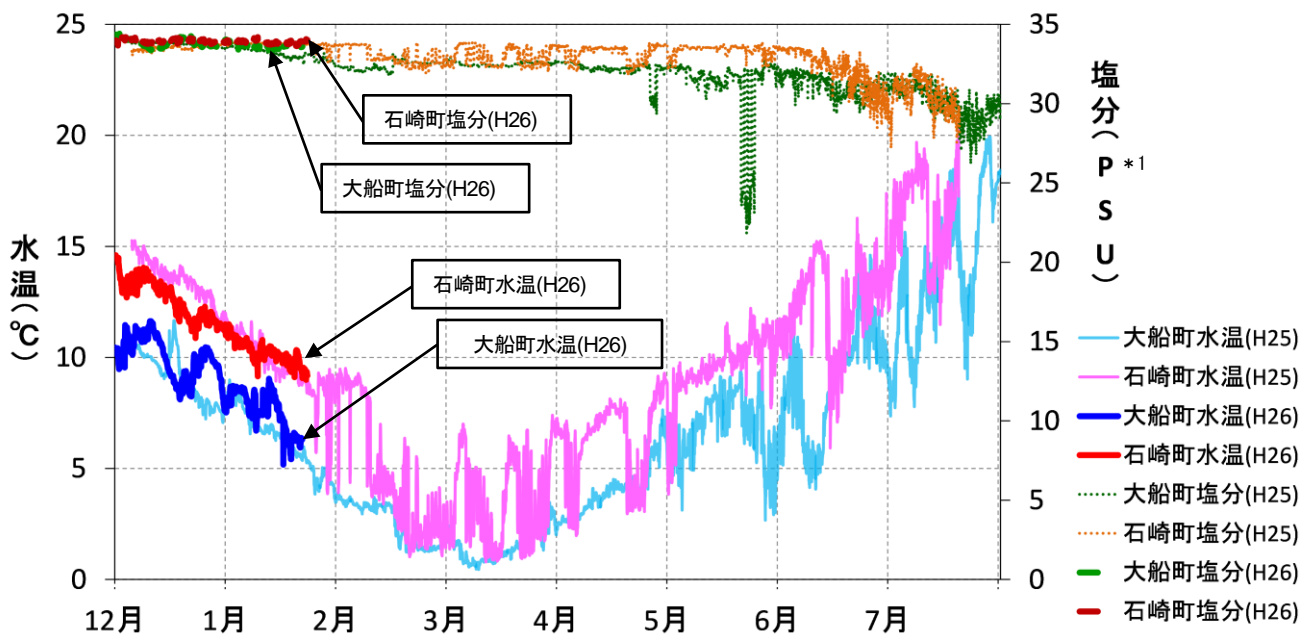


図3 コンブ養殖場における水温、塩分の推移

平成 25 年度の水温、塩分の測定データ(水深約 4m、薄色で細線)に平成 26 年度の測定データ(コンブ育成水深、濃色で太線)を重ねて表示しました。データは 1 時間ごとの測定値を示します。

【用語解説】

*1「塩分の単位 psu」：実用塩分単位 (Practical Salinity Unit) の略。海水 1kg に何 g の塩分が溶けているかを示し、標準海水に対する電導度の比から求めます。

*2「光量」：光量子束密度 (1 m²、1 秒当たりのモル数 (1mol=アボガドロ数 6.02×10²³個))。約 50~70 倍すると照度 (lux) の値となります。

本調査は、関係漁業協同組合、市、町、渡島総合振興局、水産技術普及指導所等と連携して実施しております。内容に関する事、その他情報等ありましたら、最寄りの関係機関、または函館水産試験場までご連絡ください。

【お問い合わせ】

〒040-0051 函館市弁天町 20 番 5 号
函館市国際水産・海洋総合研究センター内
Tel. 0138-83-2893 (調査研究部) Fax. 0138-83-2849
(担当) 赤池・前田
この内容は以下のホームページでも公開しています。
<http://www.fishexp.hro.or.jp/cont/hakodate/>

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構
水産研究本部 函館水産試験場 調査研究部
Hokkaido Research Organization (HRO)
Hakodate Fisheries Research Institute